

平成 27 年 5 月 21 日

◎依光委員長 ただいまから、危機管理文化厚生委員会を開会いたします。

(10 時 0 分開会)

本日の委員会は、きのうに引き続き「平成 27 年度業務概要について」であります。

#### 《公営企業局》

◎依光委員長 それでは、日程に従い、公営企業局の業務概要を聴取いたします。業務概要の説明に先立ち、幹部職員の紹介をお願いいたします。

(幹部職員自己紹介)

◎依光委員長 続いて、公営企業局長から総括説明を受けます。なお、局長に対する質疑は、各課長に対する質疑とあわせて行いたいと思いますので、御了承願います。

(総括説明)

◎依光委員長 続いて、各課長の説明を求めます。

#### 〈電気工水課〉

◎依光委員長 まず、電気工水課を行います。

(執行部の説明)

◎依光委員長 質疑を行います。

◎浜田(英)委員 若いころ下知がつかったときに苦い経験をしていますので、去年の大水でどんなになるだろうと鏡川の雑喉場橋のところでずっと水位を見ていたんですが、鏡ダムの絶妙なコントロールによってクリアしたということで県民から大変お褒めをいただいたんですが、そこら辺の話をいただきたい。

◎門田公営企業局長 土木部の所管でして、知事から表彰をさせていただいております。本当によくコントロールをしたということで、前のようなことのない形で洪水を抑えたと聞いております。

◎浜田(英)委員 それと鏡川工業用水で、太平洋セメント株式会社がパームヤシ石炭混焼をやり始めて、以前から言うと供給量が伸びているんじゃないかと思いますが、あれによってどのくらい利用量がふえたのかわかりますか。

◎右城電気工水課長 太平洋セメント株式会社の関係の土佐発電所は石炭火力で孕東町の山の上であって、うちから供給する水量は、基本契約で日量 7,200 立米です。あと特定供給を 2,400 立米送ってしまして、合わせると 9,600 立米になっています。

もう一つ、木質バイオマスの関係で仁井田の土佐グリーンパワー株式会社土佐発電所がこの 4 月から正式に運転を開始しましたがけれども、そちらには日量 1,000 トンの給水を行うこととしております。

それから、もう 1 カ所、パームヤシの話がございましたけれども、イーレックス株式会

社が孕東町の近くで電気を売ろうと、一昨年度ぐらいから自家発電を開始しておるはずですが、そこにも日量 1,000 トンまではいかないけれど何トンかの供給をしております。

◎浜田（英）委員 仁井田の木質バイオマスと同じぐらいの給水量ということですね。

◎右城電気工水課長 イーレックス株式会社のパームヤシ等を利用した発電は日量 100 トンの供給を行っております、規模的には小さいものです。

◎浜田（英）委員 もっとあるかと思って聞いたんですけど。

それと、地蔵寺川の小水力発電、フィード・イン・タリフ制度に基づく買い取り価格は幾らでしたか。

◎右城電気工水課長 1 キロワットアワー当たり 29 円税抜きで、今経済産業省に認めていただいております。

◎浜田（英）委員 毎秒 3.2 トンぐらいだったら、ここは 2,000 キロワットアワーぐらいいくんじゃないかなと思ったら意外に小さいですが、例えば、50 年間タービンを動かし続けるとして試算もしたんでしょうけれど、あとメンテナンス費用等を含めて大体 50 年動かせますよね。どのぐらいの収益が上がる予定ですか。

そのことともう 1 点、馬路村が今やろうとしています。これについては、こちらへアドバイスを求めてきたとかそんなことはないですか。馬路村はもうちょっと大きいんじゃないかと思うけれども。

◎右城電気工水課長 まず、馬路村の件はこちらに情報は多く入ってきておりません。相談などはいただいております。

それからもう 1 点、事業収支の試算をしたことの御報告ですけれども、建設事業費の回収に 45 年間かかるという試算をしております。固定価格買い取り制度で価額が担保されているのは 20 年間ですので、21 年目からは 29 円の半分の 14 円 50 銭を入れて試算をした結果が 45 年ということになっております。

◎浜田（英）委員 馬路村のこともありますので、それはまた詳しく聞きたいです。それと杉田とか物部川流域のダムは、濁水問題も一方で抱えていますよね。ダム湖周辺では森林整備もやっておりましたけれど、これは継続してやっているんですか。

◎右城電気工水課長 私どもで「公営企業局の森」を所管しております、全部で 110 ヘクタールほど持っております。間伐とか下草刈りとかを必要に応じて適切にやっております。まず、それが 1 点目です。

あともう一つ、物部川上流域の森林整備計画を平成 18 年度に取りまとめまして、平成 19 年度から 10 年間の計画を策定しました。平成 19 年度からその事業を実施しております、林業振興・環境部が行う切り捨て間伐とか搬出間伐の補助事業に上乘せ補助を行っております。例えば切り捨て間伐は、標準事業費の 10 分の 1 以内で上乘せの補助を行う。また、搬出間伐に当たりましては、木の 1 立米当たり 1,000 円の補助をしております、昨

年度の実績としては合計 469 万円です。

◎浜田（英）委員 最後に 1 点。のいち動物公園の風力発電はもうやめるか継続するかすったもんだして、結局、継続していますよね。順調にいつているかどうか今の状況を教えてください。

◎右城電気工水課長 まさにそこを今検討しているところです。平成 24 年 7 月から固定価格買い取り制度の運用を開始しておりまして、これに乗る形で私ども平成 24 年 12 月 1 日から FIT 価格に転換をして収入を多く確保するように運用しましたが、この 8 月末で切れます。それ以降、新電力とか四国電力から情報を収集したところ余り芳しくない返事をいただいておりますので、香南市の協力もあって野市の風力発電、のいち動物園の横に 250 キロワットが 1 本立っているわけですけれども、今後どうするのかを香南市と協議を重ねながら検討しているところです。

◎浜田（英）委員 地域の人に言わせれば、あれはランドマークタワーみたいな感じになっていますのでないと寂しいねという声もあるんですが、取り壊しということになっても相当なお金がかかっていくので、そこら辺もどうしていくかというところでしょうけれども。香南市からは動かしてほしいという要請があるんですか。

◎右城電気工水課長 香南市と協議した結果、特にそういう要請は承っておりません。

◎依光委員長 以上で、質疑を終わります。

#### 〈県立病院課〉

◎依光委員長 次に、県立病院課を行います。

#### （執行部の説明）

◎依光委員長 質疑を行います。

◎坂本（茂）委員 医業収益の増で診療単価が増額になっているということですが、特に入院の診療単価をどう積算されているのか教えてください。それと平均在院日数を今どれぐらいで計算されているのか。

◎安岡県立病院課長 先に平均在院日数は、あき総合病院につきましては、結核を除いて 17.5 日。幡多けんみん病院につきましては 12.9 日です。

◎坂本（茂）委員 後でそれぞれ表をいただけたら。

◎門田公営企業局長 診療科別に全部積み上げをしておりますので、資料をお返しするよういたします。

◎坂本（茂）委員 それと桜井町の旧の中央病院の医師公舎と宿毛病院の解体費用を計上しているということですが、解体後の売却の予定とかは立っているんですか。

◎安岡県立病院課長 今のところ予定は立っておりませんが、現状で宿毛市のほうが一部土地と既存の建物を購入したいというお話はお聞きしているところです。

◎坂本（茂）委員 桜井町のほうは。

◎安岡県立病院課長 桜井町につきましては、今のところお話はございません。

◎坂本（茂）委員 売却先が決まって、そこが解体して、解体費用も含んで買うのが普通かもしれませんが、解体してしまわないとなかなか売却のめども立たないということですか。

◎安岡県立病院課長 おっしゃるとおりでして、今の宿毛病院の建物を残したままでしたら解体にもかなりの費用が必要になります。買いたくてもなかなか買えない方もいらっしゃるだろうというところで、解体をして買いやすい状態にして売りに出したいと考えているところです。

◎門田公営企業局長 加えまして平成 26 年度から解体に起債を充てることできるようになりましたので、そのこともありまして、まずは解体をして売りやすくしたいということで、解体を先にやろうとしております。

◎坂本（茂）委員 もう 1 点。災害棟の建築ですが、幡多けんみん病院の場合は、以前に建てた建物ですからわかるんですけども、あき総合病院の場合、最近建てたにもかかわらず、災害棟は当初から予定に入っていなかったんですか。それは見通せていなかったのかどうか。

◎安岡県立病院課長 災害棟につきましては、見通しを持ってその病院施設内に構えるという形は、当初の予定にはなかった。休憩をとったりするための施設を考えておりました。

◎門田公営企業局長 それと給与カットをしたときに、カット分はこういう災害対応のために使わせていただくということで、病院事業の場合は給与カットをしておりました。職員のための施設でもありますし、特にあき総合病院は非常に好調でして、病院内の倉庫も構えていたんですけども、手狭になってきたところは確かにございます。開院 2 年目ですけれども、患者も非常に多くなってきておまして、災害棟ということで建てさせていたきたいという予算を計上しております。

◎浜田（英）委員 あき総合病院の精神病床の稼働はどうですか。全部埋まっていますか。

◎安岡県立病院課長 90 床のうち 79 床ぐらいです。

◎浜田（英）委員 まだ余裕が少しある。高知医療センターも精神病床が要るということであそこへ建てましたけれども、医師の不足で開店休業の状況になっています。あき総合病院がまだすいているということは、そもそもあそこへ必要性があったのかとも思ったりします。高知市のニーズの部分が、例えば芸西の精神病床あるいは室戸方面と分散されているのでしょうか。それはどう把握していますか。民間へ行っているのか。

◎安岡県立病院課長 あき総合病院につきましても従前から同程度で推移してきておまして、高知医療センターの精神科が稼働をしていないところで高知市の方が民間の病院に移っているかにつきましては把握していません。

◎浜田（英）委員 必要性があるからあそこへつくったんだから、そんなことも調べてみ

ないといけないんじゃないか。

◎門田公営企業局長 病床利用率は88.5%で満床に近い状況にはなっております。それと措置入院なんかで高知市の患者をあき総合病院で今は受けているということ、この前、高知市の保健所長にお聞きをしました。医療センターで受けようと思っていた患者があき総合病院で受けている部分も確かにあることは確認しておりますけれども、それが何パーセントとか何人かまではなかなか難しい。

◎浜田（英）委員 つまり、高知医療センターはあの病床もこのまま遊ばすわけにはいけない。高知市が必要だからということで、あき総合病院からある程度ベッド数を向こうへ移してつくったにもかかわらずこういう状況なので。病院企業団の議会でも議論をしていますが、ただかないといけないことですが、それとあき総合病院の免震ゴムについてはどんな情報を受けていますか。

◎安岡県立病院課長 4月21日に東洋ゴム工業が来まして、73基のゴムがございましてけれども、そのときにはすべて基準をクリアしているという報告を受けております。

◎浜田（英）委員 基準はクリアしているけれども、もう交換の必要はないということですか。

◎安岡県立病院課長 そのとおりです。ただ、新聞報道にもございましたけれども手続に瑕疵等があるので、その状況は今後あるかもしれないという報告も受けております。その状況は見守っていきたいと考えております。

◎浜田（英）委員 もう1点、あき総合病院がオープンするときに高額医療機器、新カテーテルなんかも入れておりますけれども、扱える先生が十分にいるのか。稼働率がいいのか教えていただけますか。

◎安岡県立病院課長 カテーテルはすべての医者が使えます。機器の稼働率につきまして状況は把握しておりません。ただ、収益等を見ますと非常によい状況が見られておりますので、稼働率もいいのではないかと考えております。

◎浜田（英）委員 高額の機器を入れても、それが十分に活用されないと意味がないので、その稼働率なんかも十分に調べておいていただきたいと思います。

◎安岡県立病院課長 先ほどの新カテーテルの件数です。平成26年度に使った回数が232件となっております。

◎浜田（英）委員 それは多いと見ていいですね。

◎安岡県立病院課長 はい。

◎門田公営企業局長 循環器、本当にいい先生に来ていただいておりますので、かなり安芸圏域で循環器の分が医療圏としてとめていると考えております。機械もドクターも十分に活用できていると考えております。

◎加藤副委員長 公共性と経済性のバランスをどう考えるかということ伺いたいですが、

単年度の予算で見ると 8 億 6,800 万円の損失が出ている。公営企業局としては非常に厳しい数字だと思うんです。ただ利益を上げようと思えば上げる方法は幾らでもあるわけでしょうし、周囲の医療機関とのバランスもあるでしょうし、急性期の病院の役割もある。こういう中で利益は上げないといけないけれども役割もしっかりと担っていくという両面が求められると思うんです。単年度の予算の損益と公共性をどうお考えになっていらっしゃるのか見解を伺いたいと思います。

◎安岡県立病院課長 我々、経営の健全化ということで計画も立てまして、それに向けての努力等もしているわけですがけれども、目標数値は実現ありきという形で見込んで予算を立てたりということではなくて、県民、患者中心の医療をしていく中で実態等を見て積み上げ等も行った結果、こういう数字になっております。継続的に県民に医療サービスを提供していくためには健全運営はどうしても欠かせないですけれども、利益最優先で考えているわけでは必ずしもないというところです。

◎加藤副委員長 そうしましたら、今の損失がある程度出ている状態を今後どう取り組んでいくのか。どう考えていますか。

◎安岡県立病院課長 急性期病院として、また中核病院として、県民に良質な医療を提供していくためにはどうしても医師の確保が欠かせないと思いますので、ドクターを確保することによって医業収益は改善をしていきたいと考えております。そういう病院の体制等を整えていくことによって、県民に対しても良質な医療が提供できますし、経営も改善していくと考えているところです。

◎加藤副委員長 本課とも連携をとってしっかり医師の確保に取り組んでいただきたいと思います。私は特に地元が幡多けんみん病院ですので、地域の皆さんから本当に高い評価も伺ってますし、幡多けんみん病院があるからこそ基盤がしっかりしているということは切に感じておりますので、しっかりと期待の声も受けながら引き続き頑張っていただければと思います。よろしく申し上げます。

◎依光委員長 ほかに。

(な し)

◎依光委員長 質疑を終わります。

以上で、公営企業局の業務概要を終わります。

以上で、本庁の業務概要の聴取はすべての日程を終了いたしました。

なお、5月27日、水曜日からは出先機関の業務概要調査が始まります。27日は高知市方面の出先機関の調査であります。議事堂を午前9時出発となっておりますので、よろしくお願いたします。

これで委員会を閉会いたします。

(11時8分閉会)